

台東区プラスチック分別回収モデル事業
排出実態調査報告書

令和5年3月

台東区

目次

第1章	調査概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査項目	1
第2章	調査結果	2
1.	家庭から排出されるごみ・プラスチックの組成調査	2
(1)	調査概要	2
(2)	調査結果	6
2.	家庭から排出されるプラスチックの排出量調査	44
(1)	調査概要	44
(2)	調査結果	45
3.	モデル事業に関するアンケート調査	48
(1)	調査概要	48
(2)	調査結果	50
4.	データの集計・解析・考察	136
(1)	プラスチックの排出原単位の推計	136
(2)	プラスチックに移行される量の推計	136
(3)	プラスチックの混入割合、傾向の比較	137
資料編		139
1.	家庭から排出されるごみ・プラスチックの組成調査	140
(1)	排出量	140
(2)	組成割合	148
2.	家庭から排出されるプラスチックの排出量調査	156
3.	モデル事業に関するアンケート調査	158

※端数処理のため数値が一致しないことがあります。

第1章 調査概要

1. 調査目的

台東区では循環型社会の実現に向け、現在は燃やすごみとして収集し清掃工場で焼却処理を行っているプラスチック製容器包装及びプラスチック使用製品（以下「プラスチック」という。）を分別回収する。

令和4年10月からプラスチック分別回収モデル事業（以下「モデル事業」という。）を区内大規模集合住宅で実施するなかで、区内全域実施に向けた分別方法の啓発及び排出指導の手法、資源化方法を検証するための基礎資料とするため、本調査を実施した。

プラスチック分別回収モデル事業

対象者：区内大規模集合住宅 約800世帯

回収：令和4年10月から週1回収

対象品目：プラスチック

2. 調査項目

調査項目及び内容は次のとおりである。

(1) 家庭から排出されるごみ・プラスチックの組成調査

内容：家庭から出るごみやプラスチックの品目ごとの組成調査を実施した。

期間：令和4年9月15日（木）から11月19日（土）のうち3回

(2) 家庭から排出されるプラスチックの排出量調査

内容：家庭から出るプラスチックの1人1日あたりの平均排出量を調査した。

期間：令和4年11月18日（金）から11月23日（水）までの6日間に排出されたものを11月24日（木）に調査を実施した。

(3) モデル事業に関するアンケート調査

内容：モデル事業対象の区内大規模集合住宅に対して、アンケート調査票を配付・回収した。

期間：令和4年11月15日（火）配付・11月30日（水）締切

第2章 調査結果

1. 家庭から排出されるごみ・プラスチックの組成調査

(1) 調査概要

① 調査対象

モデル事業の実施対象である区内大規模集合住宅4棟から排出される燃やすごみ、燃やさないごみ、プラスチックのうち、区が回収した各大規模集合住宅あたり20サンプルを調査対象とした。なお、第1回調査は9月に行っており、まだモデル事業を実施していないため、燃やすごみ、燃やさないごみの2品目のみを調査対象とした。

調査対象とした大規模集合住宅を表1に、調査対象としたサンプルを表2に、それぞれ示す。

表1 調査対象大規模集合住宅

大規模集合住宅	地域	世帯数
大規模集合住宅A	竜泉2丁目	258
大規模集合住宅B	台東1丁目	121
大規模集合住宅C	浅草3丁目	110
大規模集合住宅D	池之端2丁目	308

表2 調査対象サンプル数

	燃やすごみ	燃やさないごみ	プラスチック	合計
第1回	20 サンプル/1 建物 計 80 サンプル	20 サンプル/1 建物 計 80 サンプル	—	160 サンプル
第2回	20 サンプル/1 建物 計 80 サンプル	20 サンプル/1 建物 計 80 サンプル	20 サンプル/1 建物 計 80 サンプル	240 サンプル
第3回	20 サンプル/1 建物 計 80 サンプル	20 サンプル/1 建物 計 80 サンプル	20 サンプル/1 建物 計 80 サンプル	240 サンプル

② 調査スケジュール

第1回調査 令和4年9月15日(木)～9月16日(金)

第2回調査 令和4年10月13日(木)～10月15日(土)

第3回調査 令和4年11月17日(木)～11月19日(土)

③ 調査実施場所

台東清掃事務所旧北上野分室（台東区北上野 2-16-8）

④ 調査方法

図 1 の作業フローのとおり調査を実施した。また、組成分類項目の詳細を表 3 に示す。

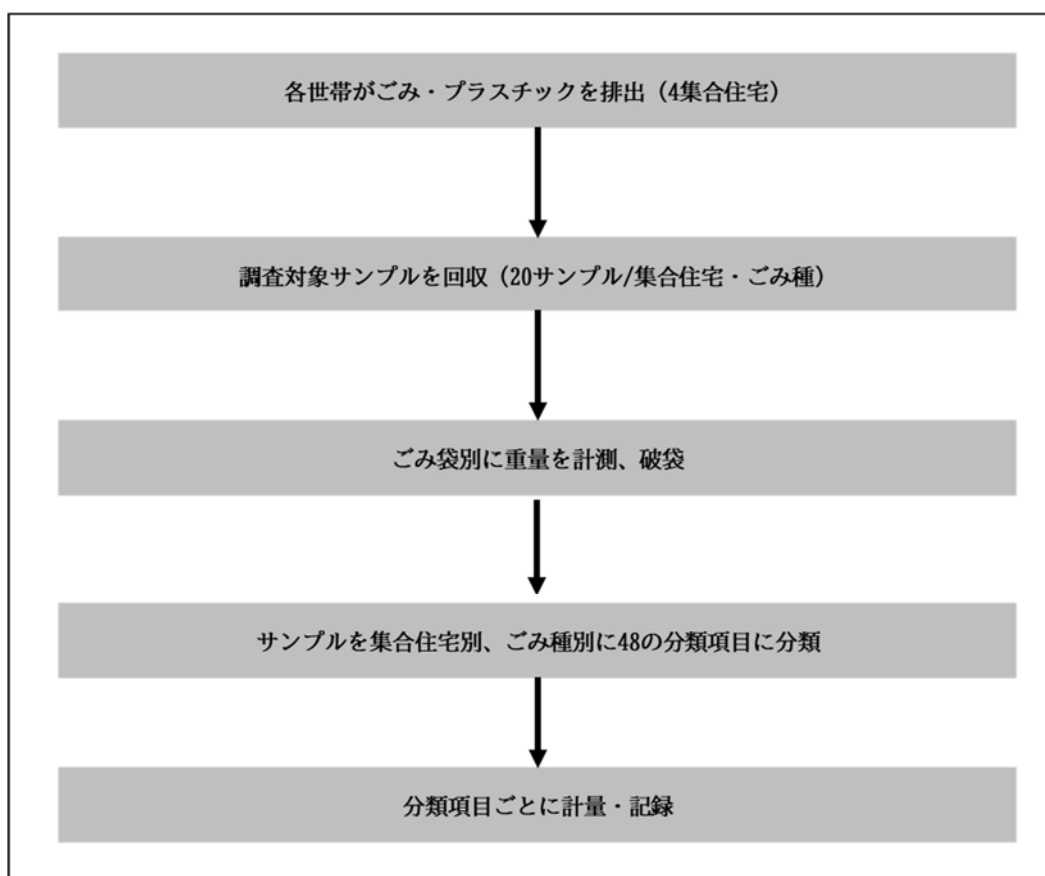


図 1 作業フロー

表 3 分類項目

番号	大分類	中分類	小分類	細分類	内容	モデル事業実施前 適正排出区分 (9月調査)	モデル事業実施後 適正排出区分 (10月、11月調査)		
1	可燃物	厨房			調理くず、直接廃棄(手つかず食品)、食べ残し		燃やすごみ		
2		紙類	資源化可能物		段ボール、飲料用紙製容器包装、その他紙製容器包装、新聞紙、チラシ、雑誌、書籍、OA用紙、雑がみ		資源回収品目		
3			資源化不可能物		紙バック(箔押し)、窓付き封筒、ダイレクトメール、紙おむつ、伝票・帳票、シュレッダー紙		燃やすごみ		
4		草木			剪定枝、植木類		燃やすごみ		
5		繊維	資源化可能物		衣類、テーブルクロス、バスタオル、ハンカチ、タオル類		資源回収品目		
6			資源化不可能物		上記でよごれているもの(油ふき等で使用されたもの)		燃やすごみ		
7		インクカートリッジ					資源回収品目		
8		その他可燃物			たばこの吸い殻など、上記以外の可燃物		燃やすごみ		
9	焼却不適物	プラスチック類	ペットボトル		飲料用のペットボトル		資源回収品目		
10			その他ペットボトル		油、洗剤、化粧品等のペットボトル		燃やすごみ	プラスチック	
11			ボトル、チューブ		洗剤、シャンプー、リンス、化粧品、歯磨き粉、医薬品、ペット表示のないボトル類		燃やすごみ	プラスチック	
12			バック類		卵、果実のバック(透明バック)		燃やすごみ	プラスチック	
13			カップ類		カップ麺、ヨーグルト、プリン、マーガリン容器、コーヒー等の持ち帰り容器		資源回収品目	プラスチック	
14			ふた・キャップ類		ペットボトルのキャップ、調味料等のキャップ、豆腐やゼリーのフィルム状のふた		燃やすごみ	プラスチック	
15			白色発泡スチロール		包装材発泡スチロール		燃やすごみ	プラスチック	
16			白色発泡トレイ		魚介類、納豆等の食品の白色発泡トレイ		資源回収品目	プラスチック	
17			着色発泡トレイ		魚介類、納豆等の着色トレイ		資源回収品目	プラスチック	
18			その他トレイ		無色のトレイ、コンビニ等の弁当がら		燃やすごみ	プラスチック	
19			レジ袋		スーパー、コンビニ袋		燃やすごみ	プラスチック	
20			包装フィルム・ラップ・袋		菓子袋等の商品を包んでいるビニール製袋、食品ラップ		燃やすごみ	プラスチック	
21			その他					燃やすごみ	
22			汚れたプラスチック					燃やすごみ	
23			製品プラスチック(プラ100%)			日用品、文具、台所用品、かばん、靴(完全にプラ製のもの)プラ製の桶、バケツ、スプーン、フォークラップ、フリーザーバック、スポンジCDケースクリーニングの袋、スーパーのロール袋、小売店配布のプラの袋等ビニールバンド等		燃やすごみ	プラスチック
24			金属との複合製品			電池の入っている製品、金属がついているもの(洗濯ばさみ、使い捨てカミソリ、電池式のおもちゃなど)コードをまとめるような結束バンド、カータイ等		燃やすごみ	
25			医療用バック・チューブ			ビニールバッグ類、チューブ類、カテーテル類		燃やすごみ	プラスチック
26			注射器			注射器		未回収	
27			その他			布、木との複合プラ等(衣類、靴等)		燃やすごみ	
28			汚れたプラスチック			プラスチック類のうち残さ等が付着しているもの		燃やすごみ	
29			ゴム・皮革			ゴム手袋、靴、ベルト、ハンドバック等 ※本革製品に限る		燃やすごみ	
30			不燃物	金属類	容器包装		飲料用鉄缶・飲料用アルミ缶		資源回収品目
31					容器包装以外		鉄類・アルミ缶、その他金属	頭皮用スプレー缶、塗料缶、機械オイル缶等なべ、やかん、一斗缶、びん詰製品のふた、釘、ねじ等	
32	ガラス類	容器包装			ガラス類		資源回収品目		
33		容器包装以外			その他のガラス	無色ガラス、茶色ガラス、その他の色		燃やさないごみ	
34	陶磁器・石	リサイクル可能			リサイクル可能な土砂類	植木用土		未回収	
35		陶磁器類				茶碗、湯のみ、植木鉢など		燃やさないごみ	
36		リサイクル不可能			土砂・石類、コンクリート製品、石膏ボード	土砂、石、コンクリートブロックなど		未回収	
37		その他分類不能なもの						未回収	
38	電池	一次電池				乾電池		資源回収品目	
39		二次電池				充電可能な電池		未回収	
40		ボタン電池				カメラ・電卓用電池		未回収	
41		バッテリー等				自動車バイクなどのバッテリー		未回収	
42		蛍光灯						資源回収品目	
43		有害物						燃やさないごみ	
44	水銀体温計						未回収		
45	農薬等の薬品						燃やさないごみ		
46	ガスボンベ・スプレー・ライター					燃やさないごみ			
47	使い捨てカイロ					燃やさないごみ			
47	小型家電				携帯電話・PHS・スマートフォン・タブレット デジタルカメラ ポータブルビデオカメラ 電子辞書 ポータブルカーナビ 携帯ゲーム機 卓上計算機 ACアダプター 携帯音楽プレーヤー		資源回収品目		
48	その他不燃物						燃やさないごみ		

※ただし、第1回調査、第2回調査、第3回調査のいずれもモデル事業実施後の排出区分で調査し集計した。

(空白)

(2) 調査結果

① 燃やすごみ

(ア) 組成割合

第1回調査では燃やすごみの回収重量は 152.8kg であり、組成内訳は燃やすごみが 58.8%、燃やさないごみが 1.2%、資源が 24.9%、非回収品目が 2.7%、プラスチックが 12.4%であった。

モデル事業開始直後の第2回調査では回収重量が 150.0kg、組成内訳は燃やすごみが 68.5%、燃やさないごみが 1.2%、資源が 19.8%、非回収品目が 4.3%、プラスチックが 6.2%となっている。

モデル事業開始から少し経過した第3回調査では、回収重量が 170.4kg、組成内訳は、燃やすごみが 66.4%、燃やさないごみが 1.2%、資源が 22.3%、非回収品目が 0%、プラスチックが 10.2%であった。

モデル事業開始後の第2回調査、第3回調査では、第1回調査よりも燃やすごみに含まれるプラスチックの割合が減少していた。

表 4 燃やすごみの組成割合

	第1回調査 (9月)		第2回調査 (10月)		第3回調査 (11月)	
	重量(kg)	組成割合	重量(kg)	組成割合	重量(kg)	組成割合
燃やすごみ	89.9	58.8%	102.7	68.5%	113.1	66.4%
厨芥	42.2	27.6%	43.1	28.7%	58.4	34.3%
その他	47.6	31.2%	59.6	39.7%	54.7	32.1%
燃やさないごみ	1.9	1.2%	1.9	1.2%	2.0	1.2%
資源	38.0	24.9%	29.7	19.8%	38.0	22.3%
紙類	31.1	20.4%	16.0	10.7%	23.1	13.6%
繊維	5.1	3.4%	12.9	8.6%	14.4	8.5%
インクカートリッジ	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%
ペットボトル	0.9	0.6%	0.2	0.1%	0.4	0.2%
金属類	0.0	0.0%	0.1	0.0%	0.0	0.0%
ガラス類	0.9	0.6%	0.5	0.3%	0.0	0.0%
一次電池	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%
蛍光灯	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%
小型家電	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%
非回収品目	4.2	2.7%	6.5	4.3%	0.0	0.0%
プラスチック	18.9	12.4%	9.2	6.2%	17.3	10.2%
プラスチック製容器包装	15.5	10.1%	8.2	5.5%	15.4	9.0%
プラスチック製容器包装非対象	3.4	2.2%	1.0	0.7%	1.9	1.1%
合計	152.8	100.0%	150.0	100.0%	170.4	100.0%

※非回収品目：区で回収しない品目

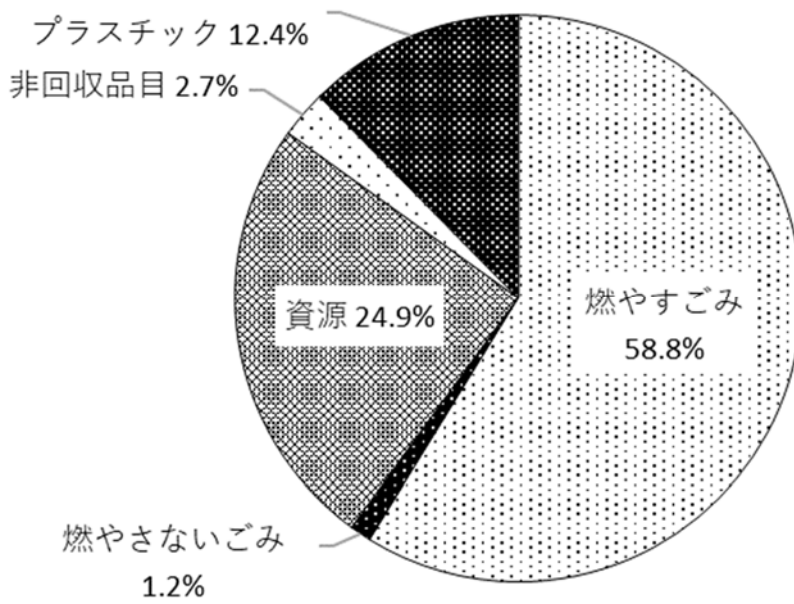


図 2 燃やすごみ（大分類）（第 1 回調査）

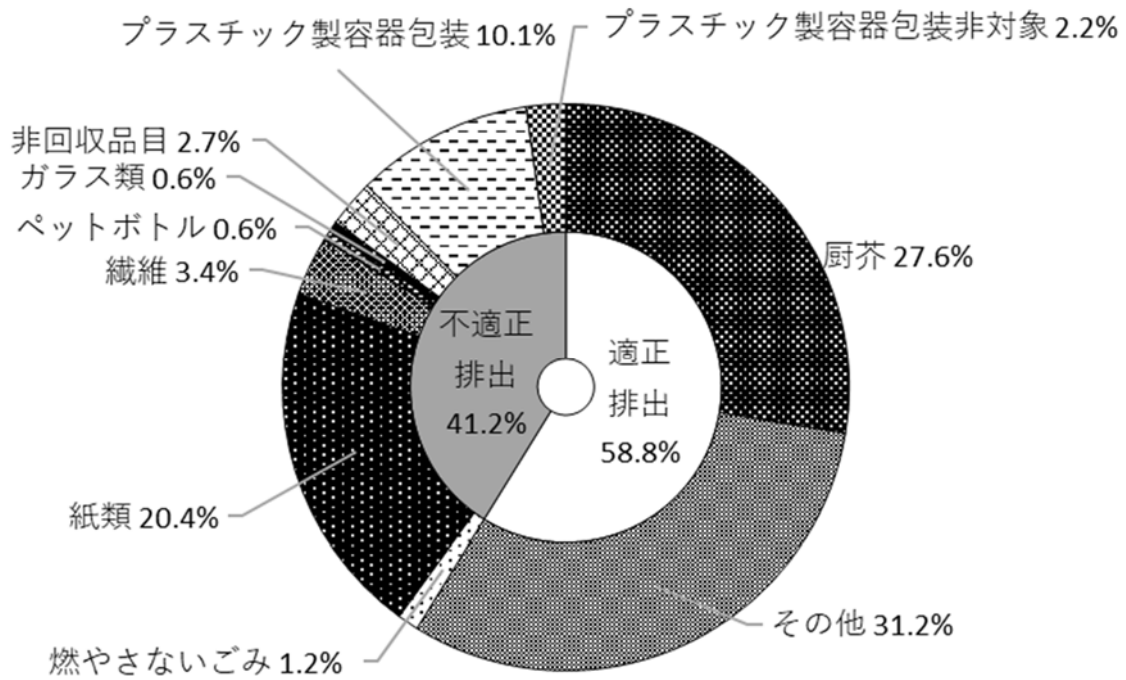


図 3 燃やすごみの組成割合（第 1 回調査）

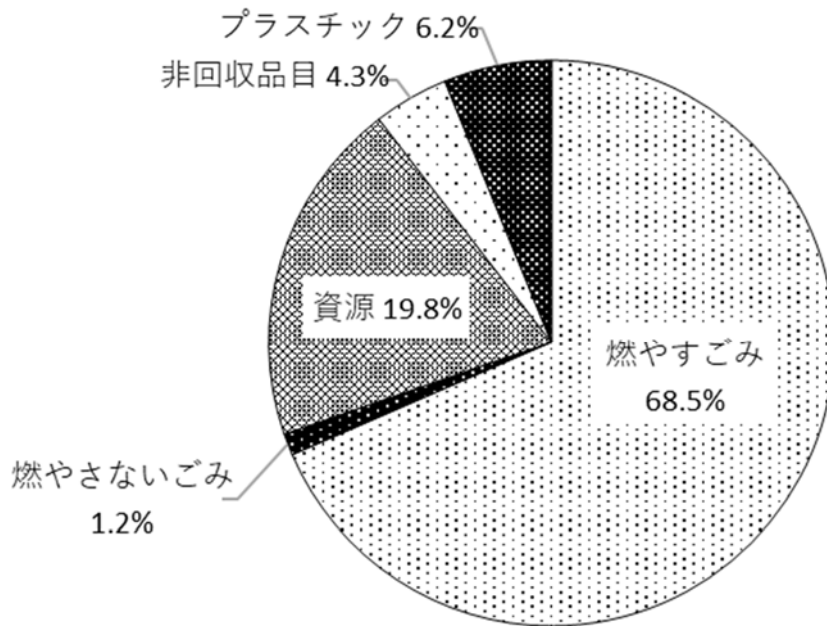


図 4 燃やすごみ（大分類）（第 2 回調査）

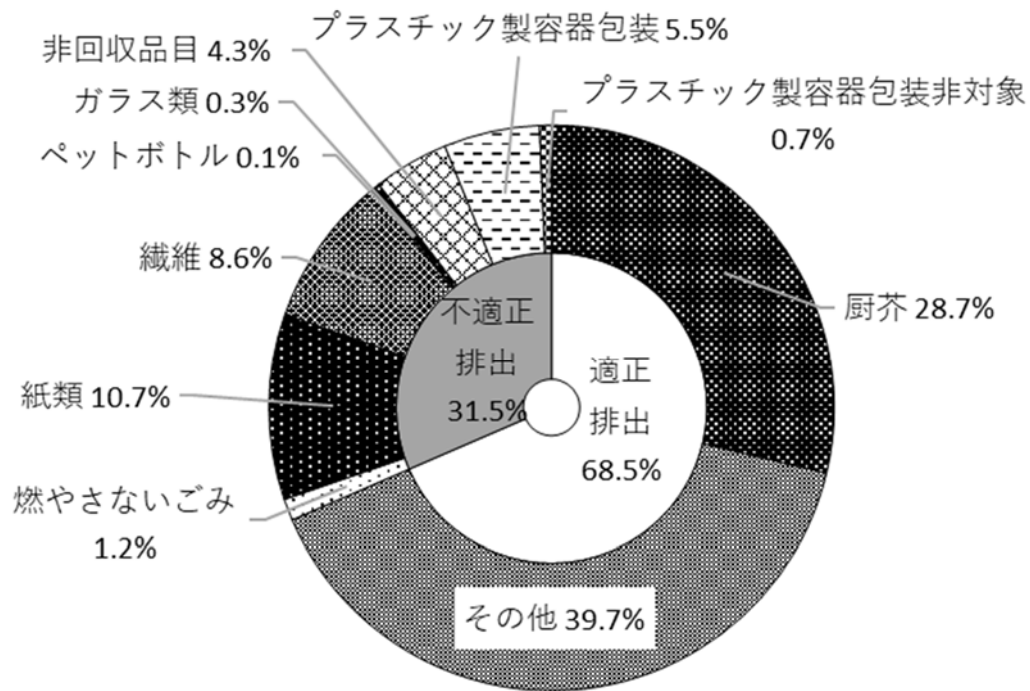


図 5 燃やすごみの組成割合（第 2 回調査）

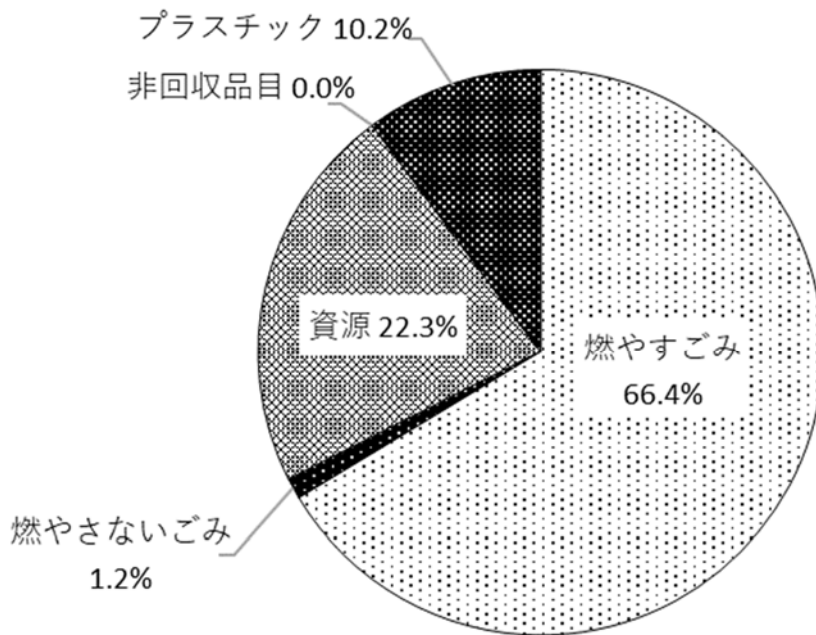


図 6 燃やすごみ（大分類）（第3回調査）

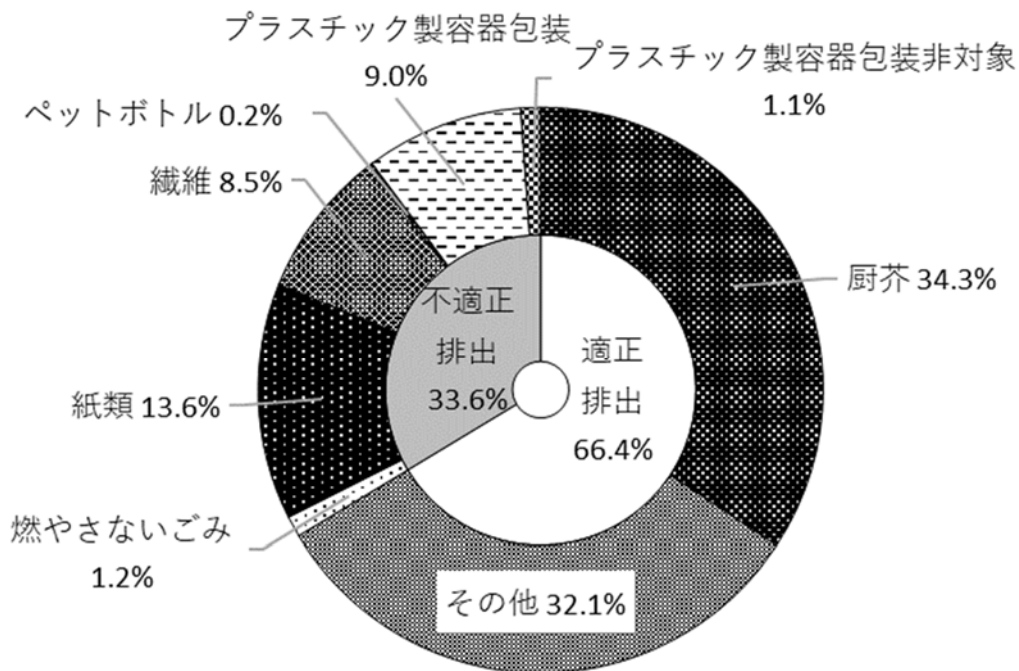
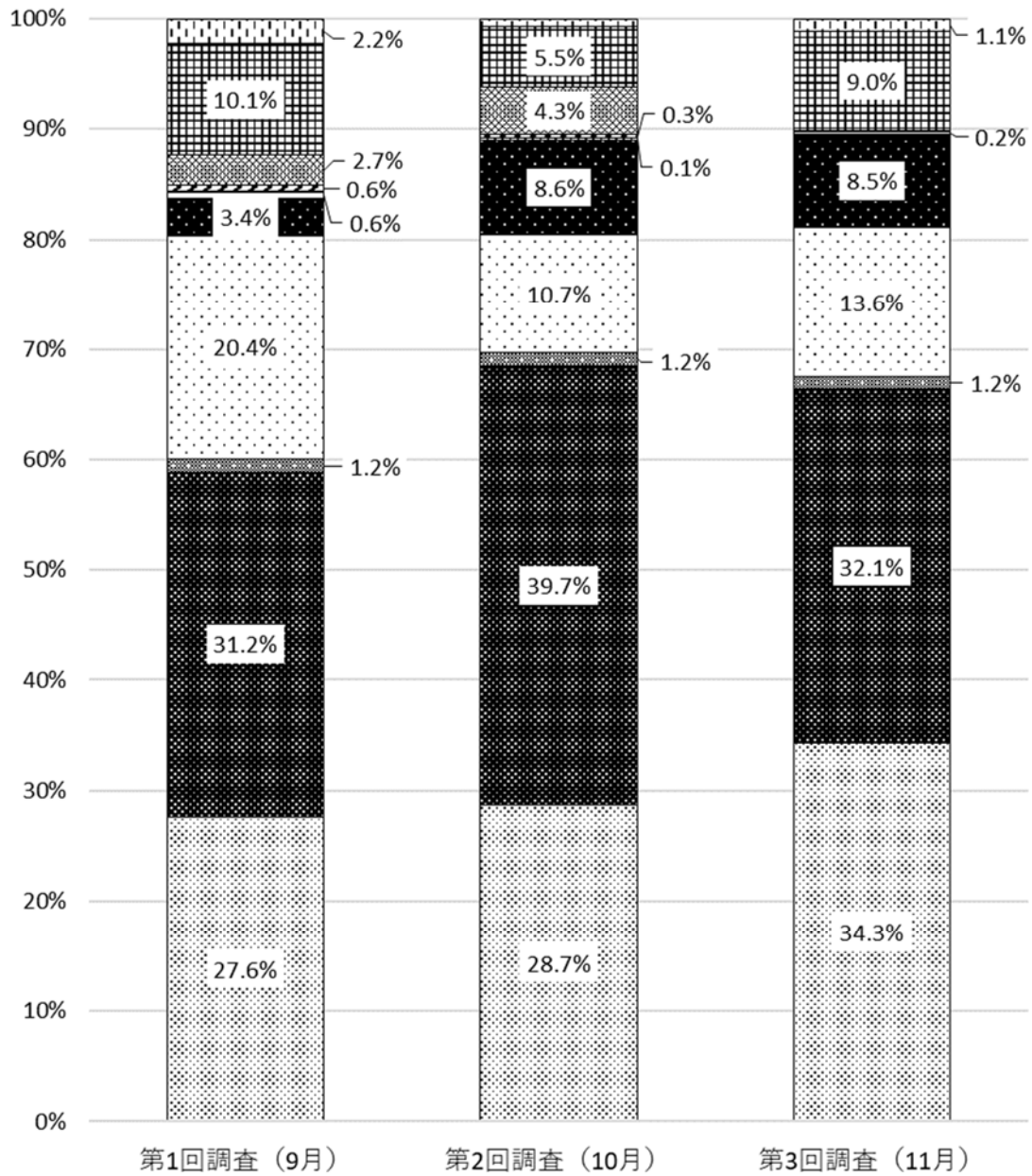


図 7 燃やすごみの組成割合（第3回調査）



- ☒ 厨芥
- ☒ 燃やさないごみ
- 繊維
- ☒ ペットボトル
- ☒ ガラス類
- 蛍光灯
- ☒ 非回収品目
- ☒ プラスチック製容器包装非対象
- その他燃やすごみ
- ☒ 紙類
- インクカートリッジ
- ☒ 金属類
- ☒ 一次電池
- ☒ 小型家電
- ☒ プラスチック製容器包装

図 8 燃やすごみの組成割合 (月別比較)

[組成調査の燃やすごみのサンプル]



(イ) プラスチックの排出状況

P.4 の「表3 分類項目」の中分類で示すプラスチック類（ペットボトルは除く）の排出区分は、「プラスチック」と「燃やすごみ」に分けられる。

第1回調査はモデル事業実施前のため、プラスチック（資源回収品目の食品発泡トレイ・カップを除く）は、「燃やすごみ」で回収していたが、第2回調査、第3回調査と比較するため、モデル事業実施後の排出区分で表5に示した。

燃やすごみとして排出されたプラスチック類を排出区分別にみると、第1回調査では「プラスチック」が55.1%、「燃やすごみ」は44.9%だった。モデル事業開始後の第2回調査では「プラスチック」が40.0%、「燃やすごみ」が60.0%となり、第3回調査では「プラスチック」が82.3%、「燃やすごみ」が17.7%となった。

排出区分の「プラスチック」を分別区分別にみると、第1回調査では「プラスチック製容器包装」が81.9%、「プラスチック製容器包装非対象」が18.1%、第2回調査では「プラスチック製容器包装」が89.0%、「プラスチック製容器包装非対象」が11.0%、第3回調査では「プラスチック製容器包装」が88.9%、「プラスチック製容器包装非対象」が11.1%となった。「プラスチック製容器包装」の中でも「包装フィルム・ラップ・袋」が各調査で最も多く排出されていた。

排出区分の「燃やすごみ」を分別区分別にみると、第1回調査では「プラスチック製容器包装」が87.7%、「プラスチック製容器包装非対象」が12.3%、第2回調査では「プラスチック製容器包装」が81.5%、「プラスチック製容器包装非対象」が18.5%、第3回調査では「プラスチック製容器包装」が82.4%、「プラスチック製容器包装非対象」が17.6%となった。排出区分の「プラスチック」と同様に「プラスチック製容器包装」が多くを占めており、中でも「汚れたプラスチック」が各調査で7割以上排出されていた。

表 5 燃やすごみのプラスチック排出状況

排出区分（モデル事業実施後）／ 分別区分	調査対象全体											
	第1回調査（9月）				第2回調査（10月）				第3回調査（11月）			
	重量	排出区分の 内訳の 構成比	分別区分の 構成比	燃やす ごみ全体に 対する 構成比	重量	排出区分の 内訳の 構成比	分別区分の 構成比	燃やす ごみ全体に 対する 構成比	重量	排出区分の 内訳の 構成比	分別区分の 構成比	燃やす ごみ全体に 対する 構成比
プラスチック	18.9	55.1%	100.0%	12.4%	9.2	40.0%	100.0%	6.2%	17.3	82.3%	100.0%	10.2%
プラスチック製容器包装	15.5	45.1%	81.9%	10.1%	8.2	35.6%	89.0%	5.5%	15.4	73.2%	88.9%	9.0%
その他ペットボトル	0.5	1.4%	2.5%	0.3%	0.1	0.5%	1.3%	0.1%	0.2	0.7%	0.9%	0.1%
ボトル、チューブ	3.4	9.9%	18.0%	2.2%	1.1	4.6%	11.5%	0.7%	0.9	4.1%	5.0%	0.5%
バック類	0.7	2.0%	3.6%	0.4%	0.4	1.6%	4.0%	0.2%	0.2	1.0%	1.2%	0.1%
カップ類	0.4	1.3%	2.4%	0.3%	0.3	1.5%	3.7%	0.2%	0.6	2.9%	3.5%	0.4%
ふた・キャップ類	0.3	0.9%	1.7%	0.2%	0.2	1.0%	2.6%	0.2%	0.3	1.5%	1.8%	0.2%
白色発泡スチロール	0.1	0.2%	0.3%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%
白色発泡トレイ	0.2	0.6%	1.1%	0.1%	0.1	0.3%	0.8%	0.1%	0.3	1.6%	2.0%	0.2%
着色発泡トレイ	1.0	2.8%	5.1%	0.6%	0.0	0.1%	0.4%	0.0%	0.3	1.4%	1.7%	0.2%
その他トレイ	1.1	3.2%	5.8%	0.7%	0.2	0.9%	2.2%	0.1%	2.0	9.6%	11.6%	1.2%
レジ袋	2.0	5.8%	10.5%	1.3%	1.3	5.6%	14.1%	0.9%	3.0	14.1%	17.1%	1.7%
包装フィルム・ ラップ・袋	5.8	17.0%	30.9%	3.8%	4.5	19.4%	48.4%	3.0%	7.6	36.3%	44.1%	4.5%
プラスチック製容器包装非対象	3.4	10.0%	18.1%	2.2%	1.0	4.4%	11.0%	0.7%	1.9	9.1%	11.1%	1.1%
製品プラスチック （プラ100%）	3.4	10.0%	18.1%	2.2%	1.0	4.4%	11.0%	0.7%	1.9	9.1%	11.1%	1.1%
医療用パック・チューブ	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%
燃やすごみ	15.4	44.9%	100.0%	10.1%	13.9	60.0%	100.0%	9.2%	3.7	17.7%	100.0%	2.2%
プラスチック製容器包装	13.5	39.3%	87.7%	8.8%	11.3	48.9%	81.5%	7.5%	3.1	14.6%	82.4%	1.8%
その他	2.5	7.2%	15.9%	1.6%	1.6	6.8%	11.3%	1.0%	0.3	1.4%	7.8%	0.2%
汚れたプラスチック	11.0	32.2%	71.7%	7.2%	9.7	42.1%	70.1%	6.5%	2.8	13.2%	74.6%	1.6%
プラスチック製容器包装非対象	1.9	5.5%	12.3%	1.2%	2.6	11.1%	18.5%	1.7%	0.7	3.1%	17.6%	0.4%
金属との複合製品	0.4	1.0%	2.3%	0.2%	0.4	1.9%	3.1%	0.3%	0.6	2.9%	16.2%	0.4%
注射器	0.1	0.2%	0.4%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%
その他	1.4	4.0%	8.9%	0.9%	2.1	9.2%	15.3%	1.4%	0.1	0.2%	1.4%	0.0%
汚れたプラスチック	0.1	0.3%	0.7%	0.1%	0.0	0.1%	0.2%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%

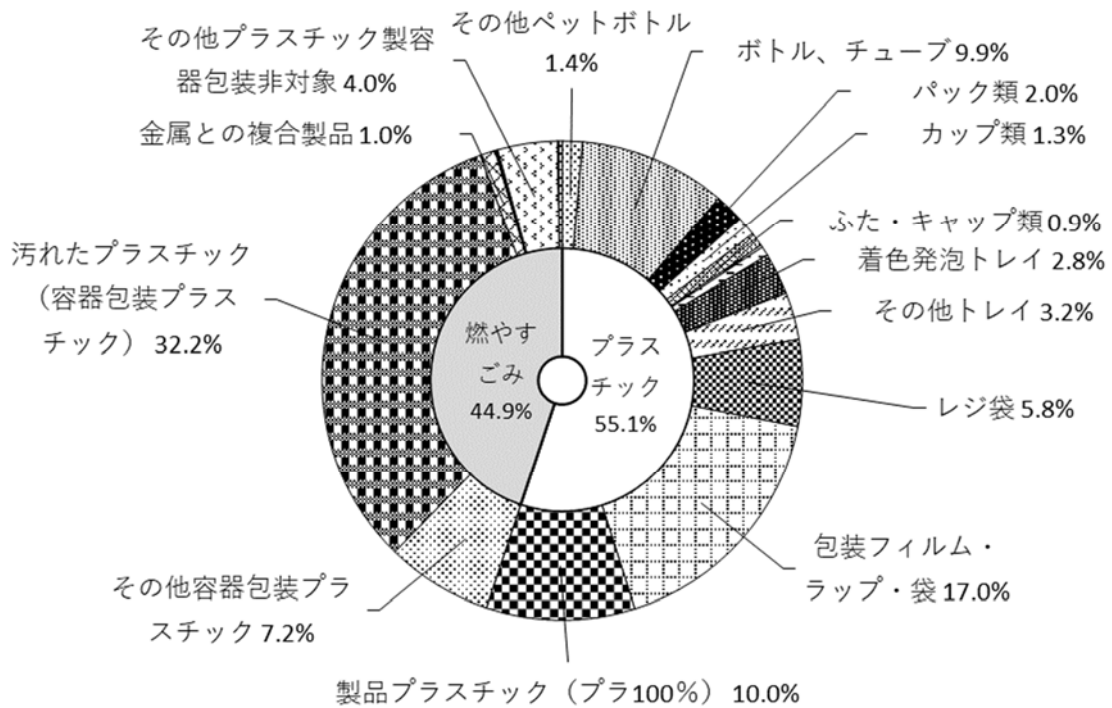


図 9 排出区分と内訳 (第1回調査)

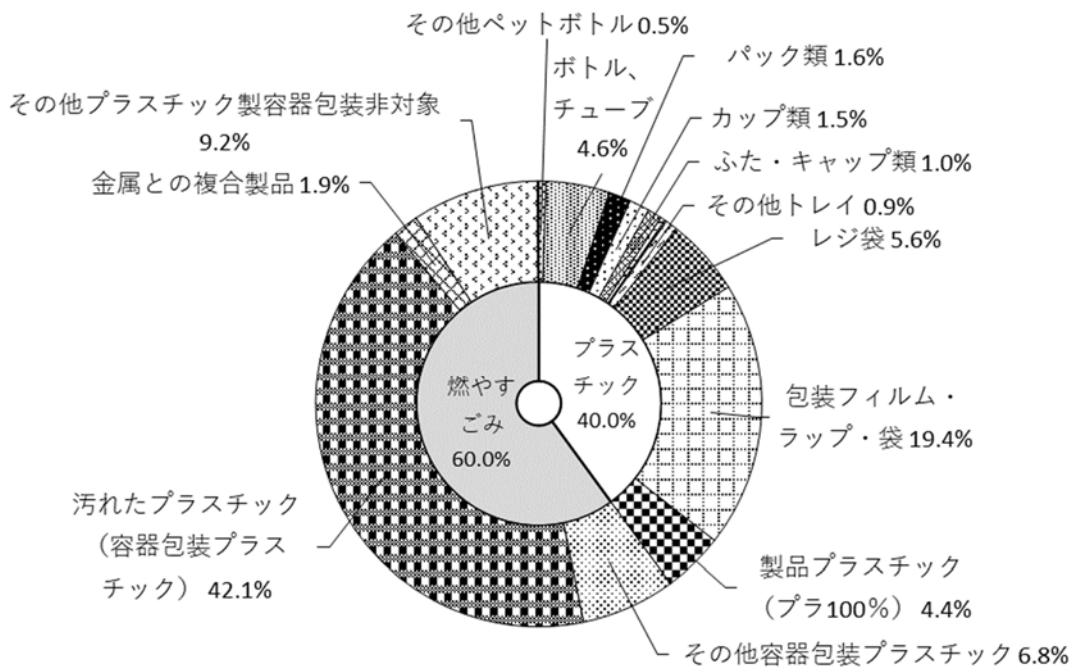


図 10 排出区分と内訳 (第2回調査)

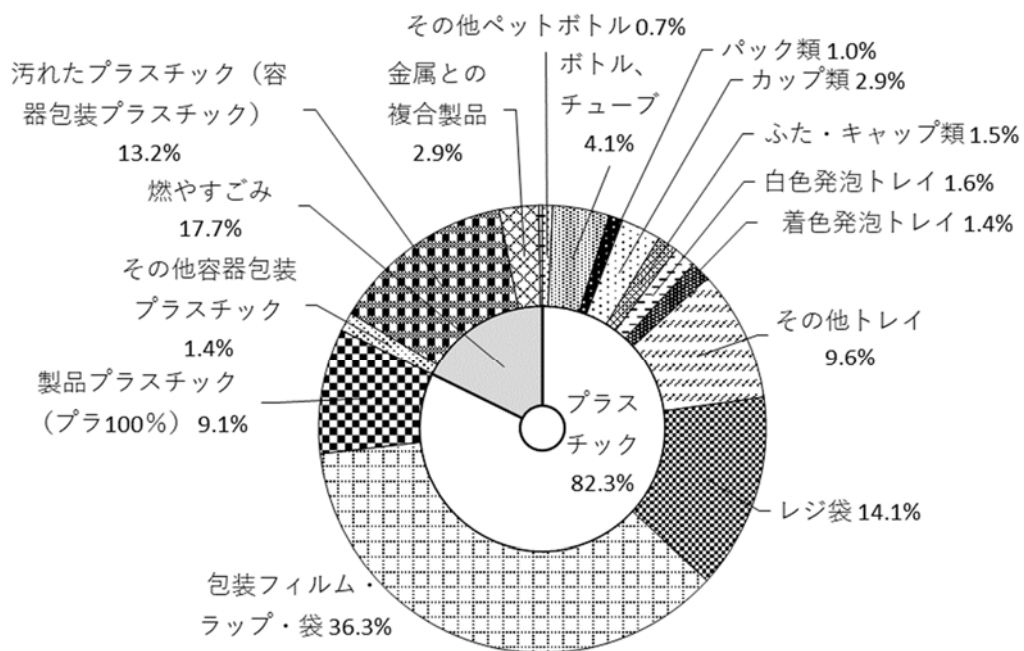


図 11 排出区分と内訳 (第3回調査)

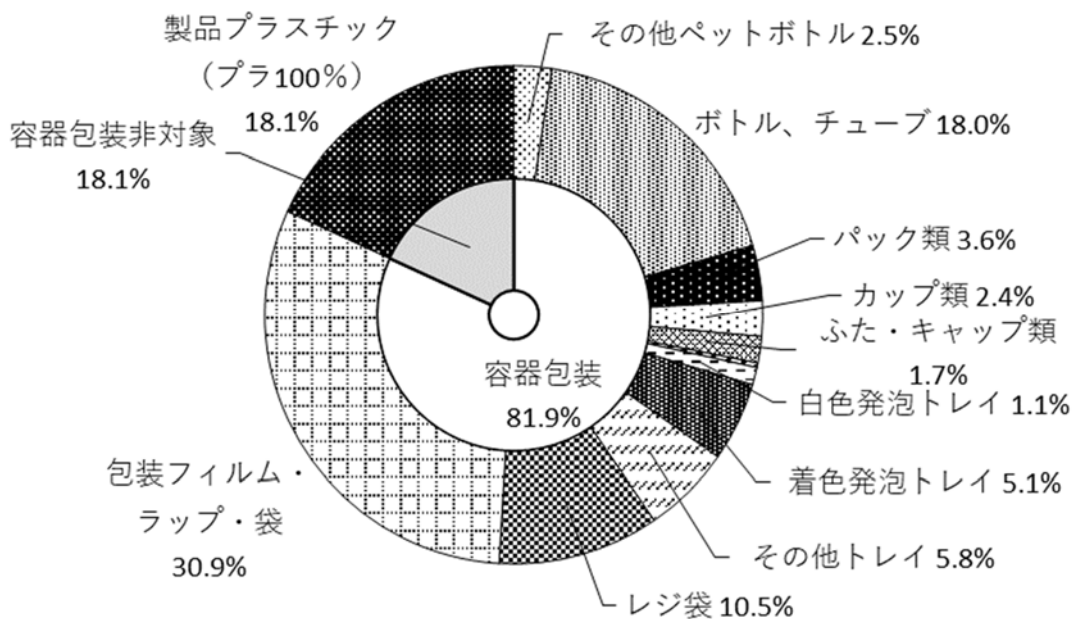


図 12 「プラスチック」の分別区分と内訳 (第1回調査)

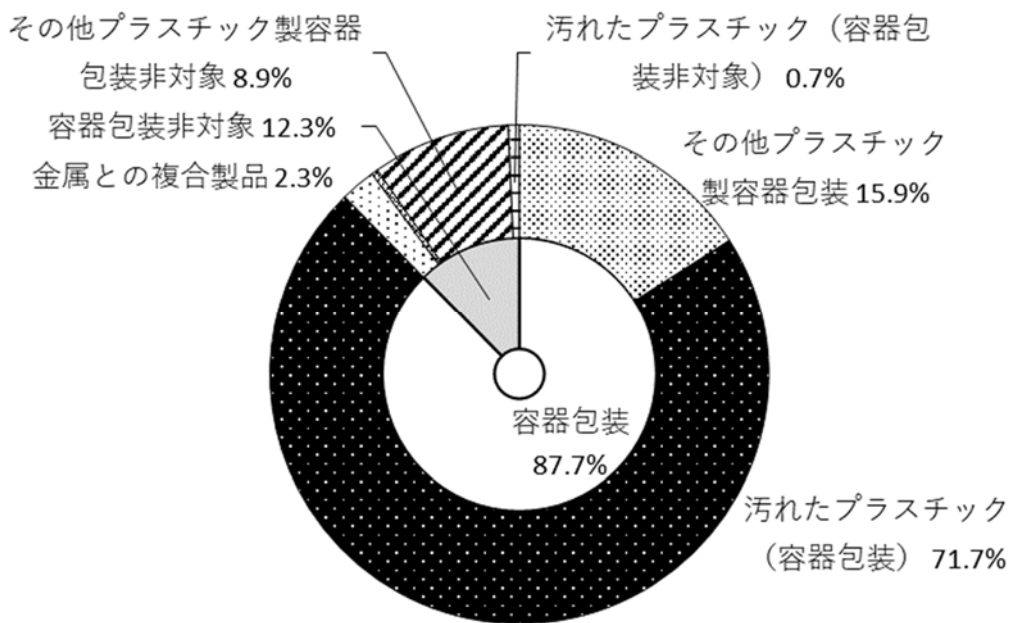


図 13 「燃やすごみ」の分別区分と内訳 (第1回調査)

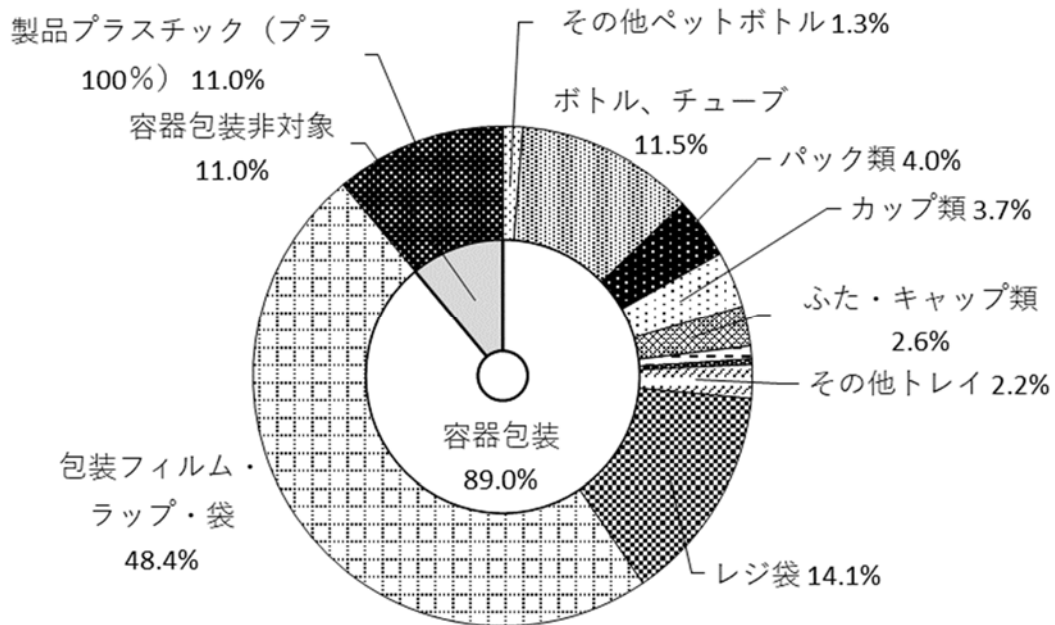


図 14 「プラスチック」の分別区分と内訳（第2回調査）

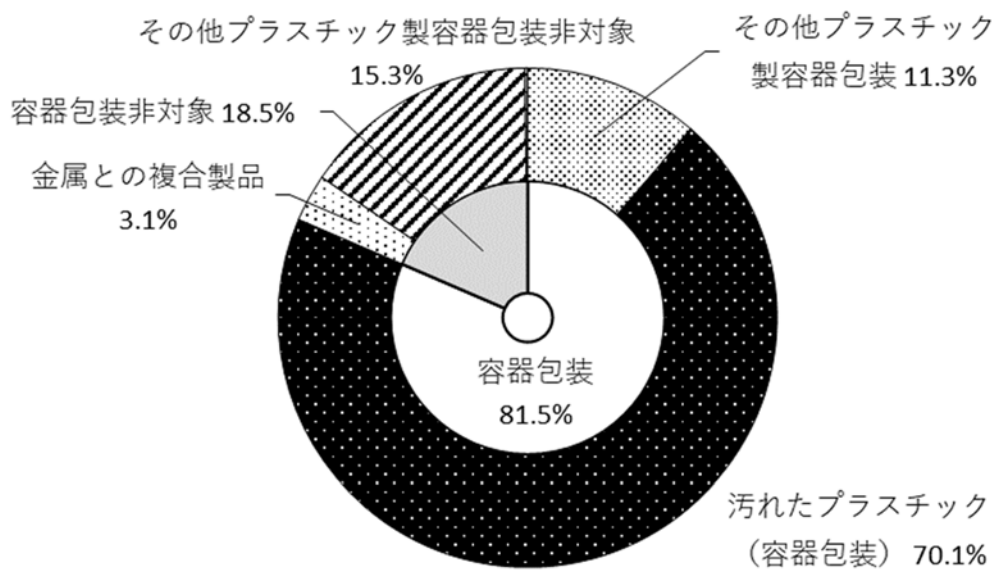


図 15 「燃やすごみ」の分別区分と内訳（第2回調査）

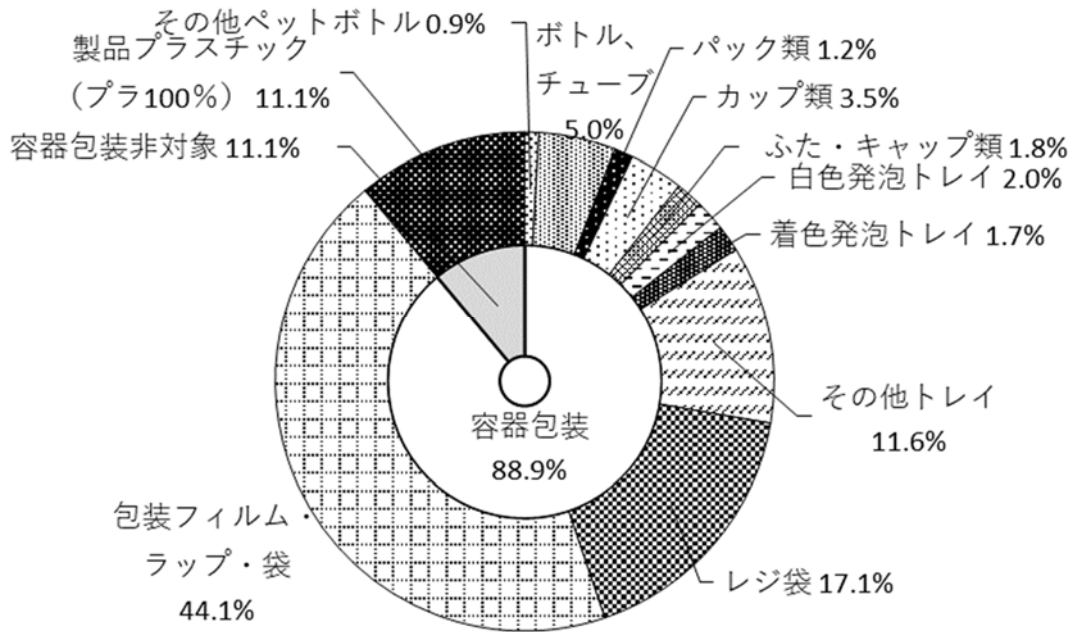


図 16 「プラスチック」の分別区分と内訳 (第3回調査)

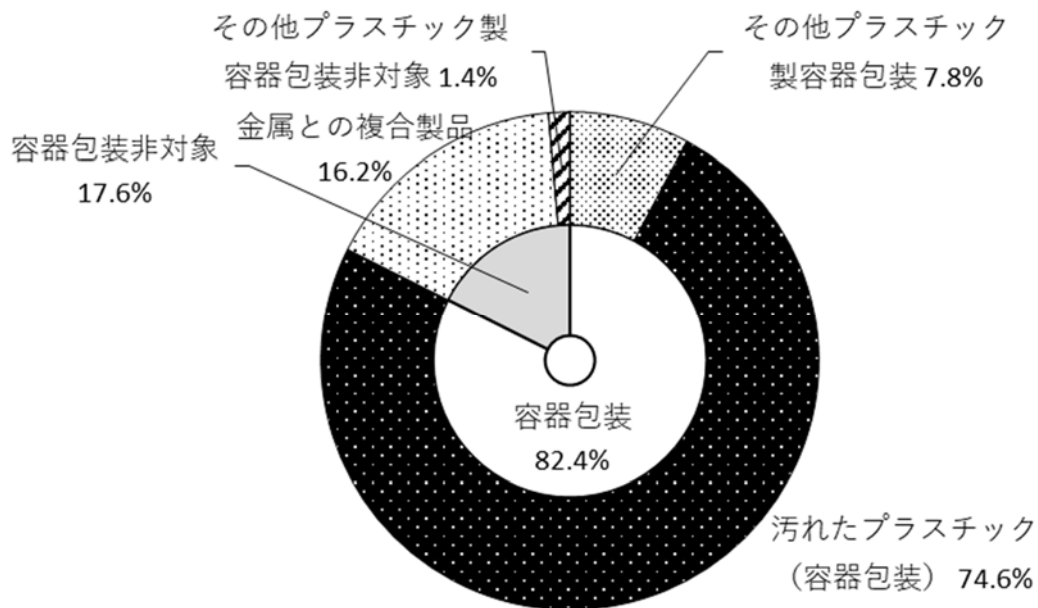
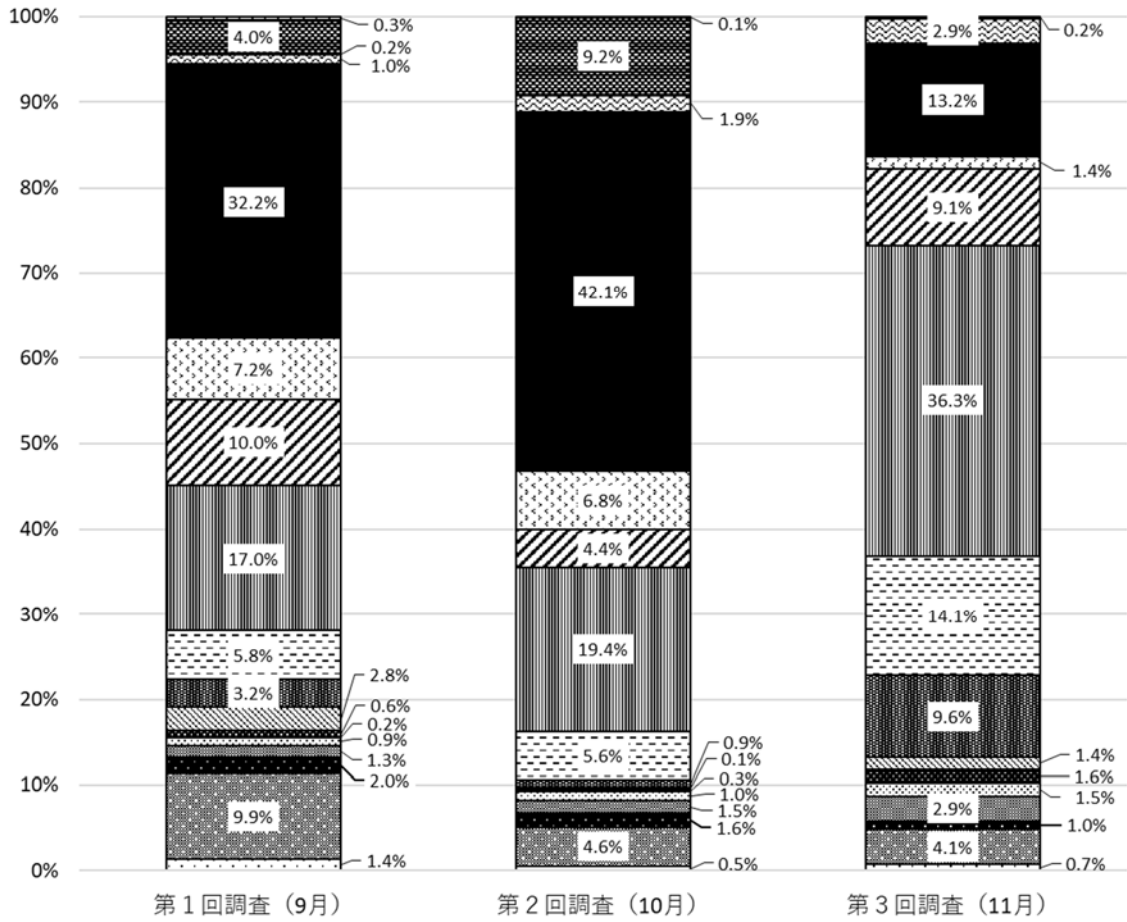


図 17 「燃やすごみ」の分別区分と内訳 (第3回調査)



- 汚れたプラスチック (プラスチック製容器包装非対象)
 - その他プラスチック製容器包装非対象
 - 注射器
 - 金属との複合製品
 - 汚れたプラスチック (容器包装プラスチック)
 - その他容器包装プラスチック
- 燃やすごみ
-
- 医療用パック・チューブ
 - 製品プラスチック (プラ100%)
 - 包装フィルム・ラップ・袋
 - レジ袋
 - その他トレイ
 - 着色発泡トレイ
 - 白色発泡トレイ
 - 白色発泡スチロール
 - ふた・キャップ類
 - カップ類
 - パック類
 - ボトル、チューブ
 - その他ペットボトル
- プラスチック

図 18 プラスチック排出状況 (月別比較)

② 燃やさないごみ

(ア) 組成割合

第1回調査では燃やさないごみの回収重量は 106.4kg であり、組成内訳は燃やすごみが 5.3%、燃やさないごみが 60.8%、資源が 29.2%、非回収品目が 0.6%、プラスチックが 4.0%であった。

モデル事業開始直後の第2回調査では回収重量が 114.9kg、組成内訳は燃やすごみが 8.2%、燃やさないごみが 55.4%、資源が 30.4%、非回収品目が 3.0%、プラスチックが 2.9%となっている。

モデル事業開始から少し経過した第3回調査では、回収重量が 87.3kg、組成内訳は、燃やすごみが 9.8%、燃やさないごみが 64.1%、資源が 21.1%、非回収品目が 1.2%、プラスチックが 3.8%であった。

モデル事業開始後の第2回調査、第3回調査では、第1回調査よりも燃やさないごみに含まれるプラスチック量が減少していた。

表 6 燃やさないごみの組成割合

	第1回調査 (9月)		第2回調査 (10月)		第3回調査 (11月)	
	重量(kg)	組成割合	重量(kg)	組成割合	重量(kg)	組成割合
燃やすごみ	5.6	5.3%	9.4	8.2%	8.6	9.8%
厨芥	0.5	0.5%	0.0	0.0%	0.0	0.0%
その他	5.1	4.8%	9.4	8.2%	8.6	9.8%
燃やさないごみ	64.7	60.8%	63.7	55.4%	55.9	64.1%
資源	31.1	29.2%	34.9	30.4%	18.4	21.1%
紙類	1.0	1.0%	1.3	1.1%	0.6	0.7%
繊維	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%
インクカートリッジ	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%
ペットボトル	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%
金属類	0.5	0.5%	1.3	1.1%	0.4	0.5%
ガラス類	5.0	4.7%	7.1	6.2%	3.1	3.5%
一次電池	1.1	1.0%	0.2	0.2%	1.8	2.0%
蛍光灯	1.9	1.8%	0.1	0.1%	1.2	1.3%
小型家電	21.5	20.2%	24.8	21.6%	11.3	13.0%
非回収品目	0.7	0.6%	3.5	3.0%	1.1	1.2%
プラスチック	4.3	4.0%	3.4	2.9%	3.3	3.8%
プラスチック製容器包装	0.9	0.8%	1.3	1.2%	1.3	1.5%
プラスチック製容器包装非対象	3.4	3.2%	2.1	1.8%	2.0	2.3%
合計	106.4	100.0%	114.9	100.0%	87.3	100.0%

※非回収品目：区で回収しない品目

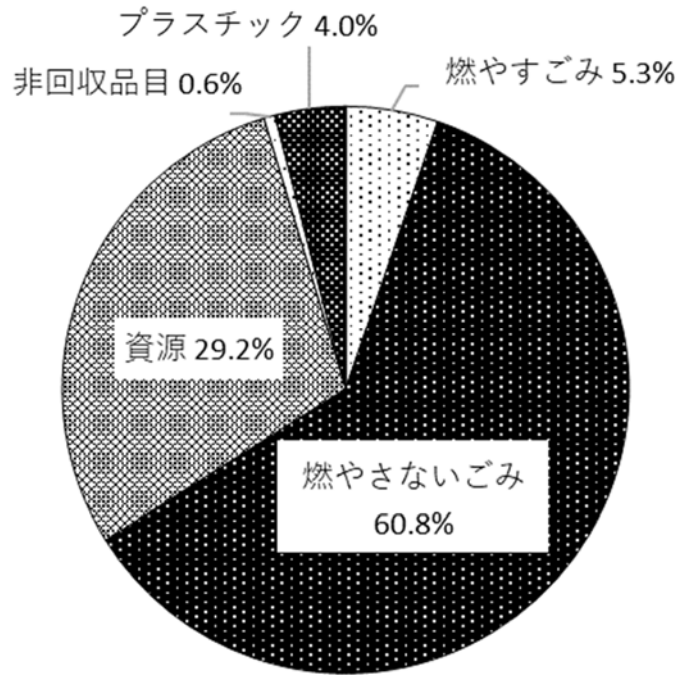


図 19 燃やさないごみ（大分類）（第1回調査）

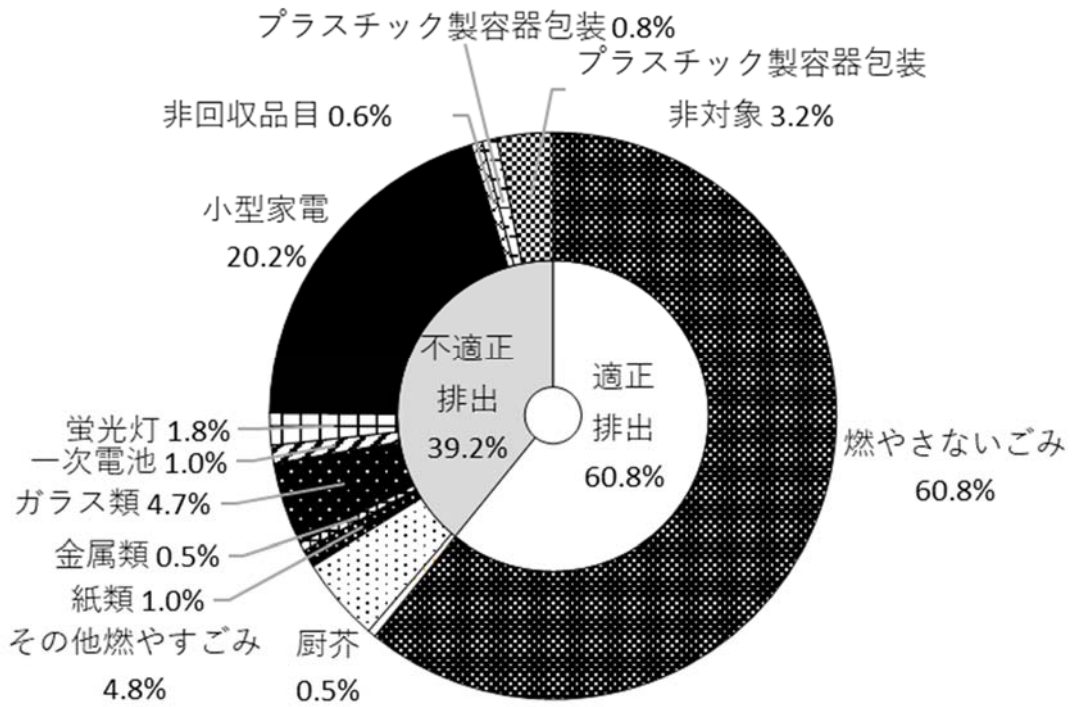


図 20 燃やさないごみの組成割合（第1回調査）

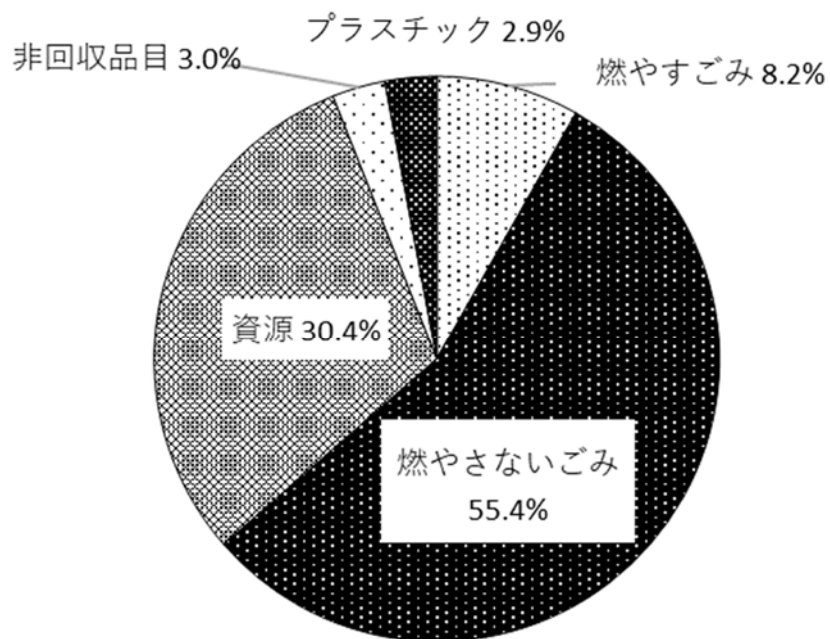


図 21 燃やさないごみ（大分類）（第2回調査）

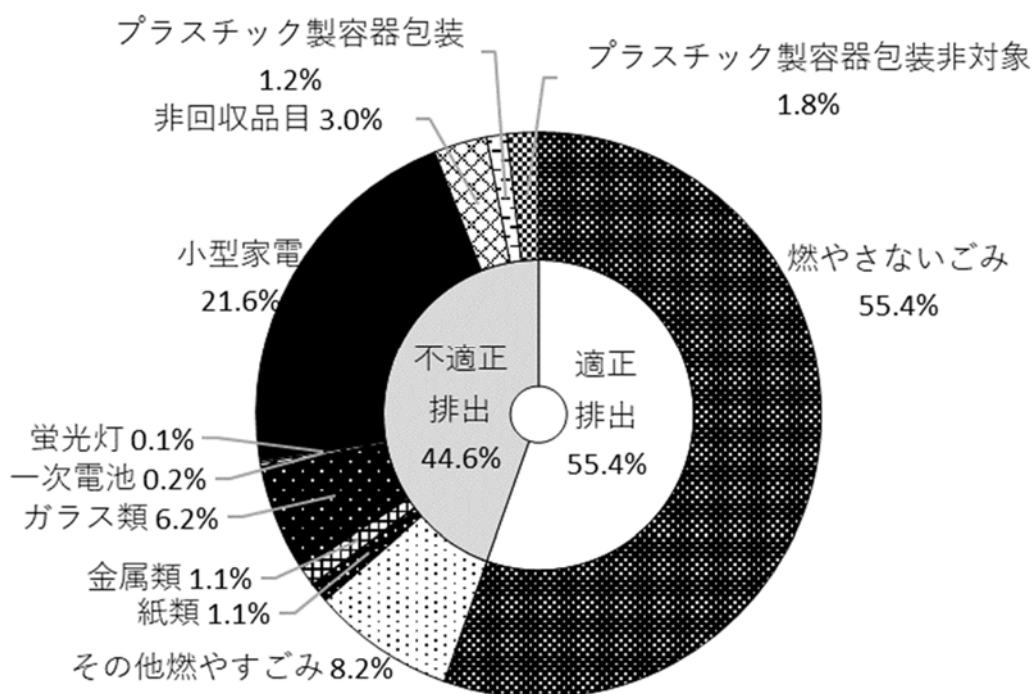


図 22 燃やさないごみの組成割合（第2回調査）

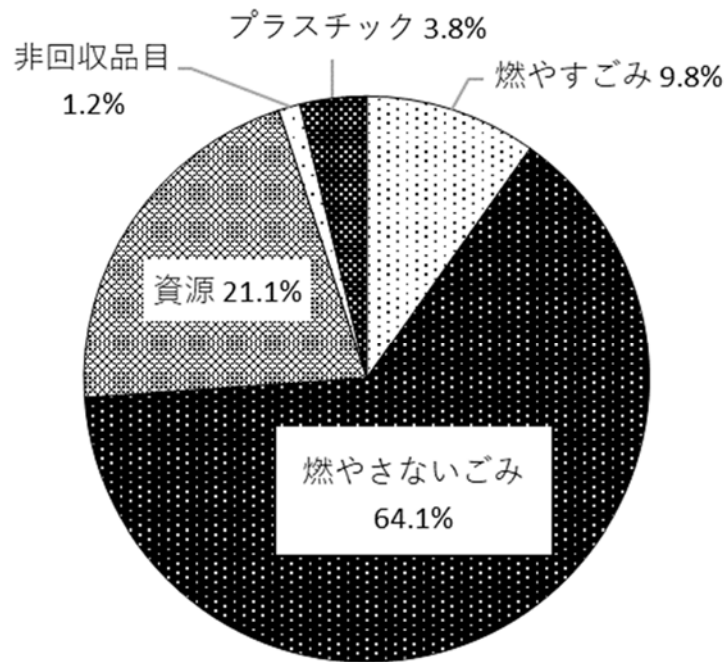


図 23 燃やさないごみ (大分類) (第3回調査)

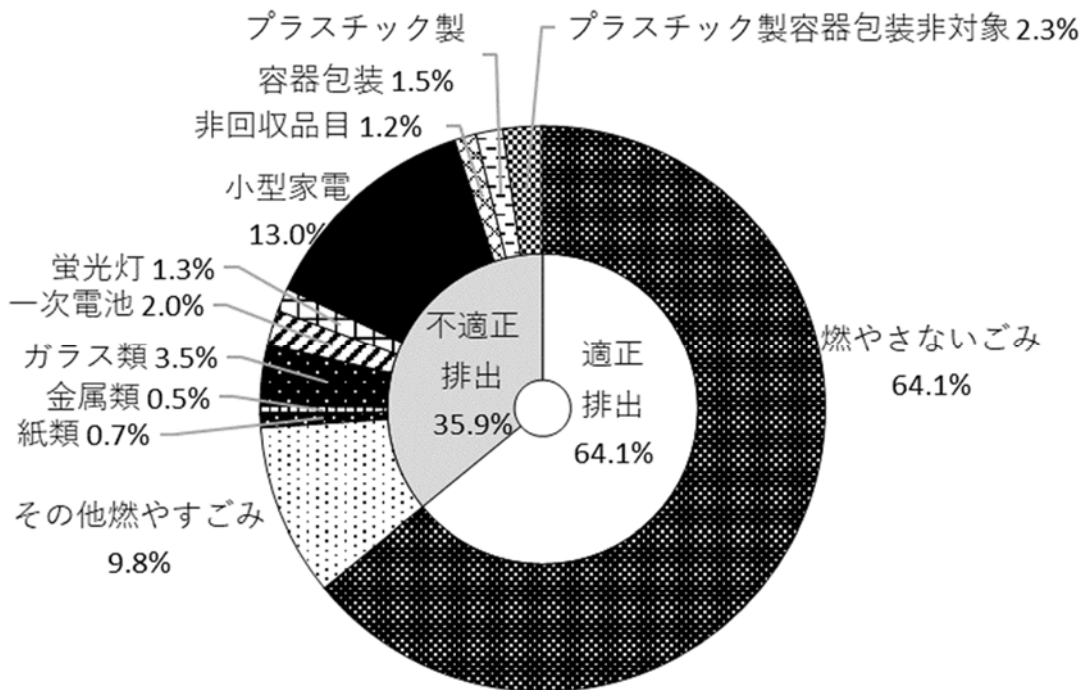
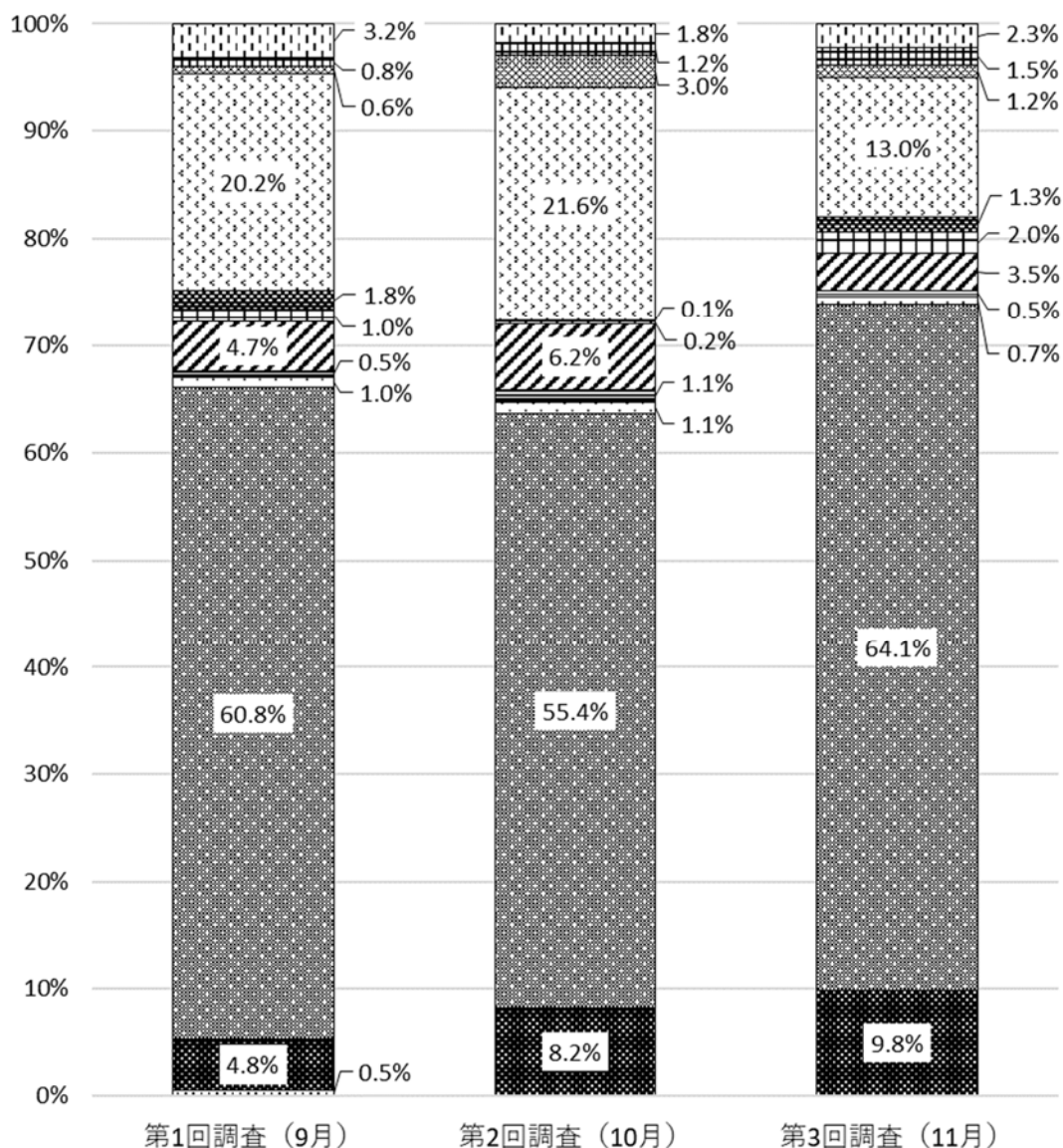


図 24 燃やさないごみの組成割合（第3回調査）



- ☒ 厨芥
- ☒ 燃やさないごみ
- 繊維
- ☒ ペットボトル
- ☒ ガラス類
- ☒ 蛍光灯
- ☒ 未回収品目
- ☒ プラスチック製容器包装非対象
- その他燃やすごみ
- ☒ 紙類
- ☒ インクカートリッジ
- ☒ 金属類
- ☒ 一次電池
- ☒ 小型家電
- ☒ プラスチック製容器包装

図 25 燃やさないごみの組成割合（月別比較）

(空白)

(イ) プラスチックの排出状況

P.4 の「表3 分類項目」の中分類で示すプラスチック類（ペットボトルは除く）の排出区分は、「プラスチック」と「燃やすごみ」に分けられる。

モデル事業実施前と後では、「燃やさないごみ」から「プラスチック」への排出区分の変更はなく、第1回調査、第2回調査、第3回調査ともに、モデル事業実施後の排出区分で表7に示した。

燃やさないごみとして排出されたプラスチック類を排出区分別にみると、第1回調査では「プラスチック」が55.0%、「燃やすごみ」は45.1%だった。モデル事業開始後の第2回調査では「プラスチック」が28.0%、「燃やすごみ」が72.0%となり、第3回調査では「プラスチック」が33.0%、「燃やすごみ」が67.0%となった。

排出区分の「プラスチック」を分別区分別にみると、第1回調査では「プラスチック製容器包装」が20.8%、「プラスチック製容器包装非対象」が79.2%、第2回調査では「プラスチック製容器包装」が39.5%、「プラスチック製容器包装非対象」が60.5%、第3回調査では「プラスチック製容器包装」が40.6%、「プラスチック製容器包装非対象」が59.4%となった。「プラスチック製容器包装」の中でも「ボトル、チューブ」や「レジ袋」が各調査で多く排出されていた。

排出区分の「燃やすごみ」を分別区分別にみると、第1回調査では「プラスチック製容器包装」が29.2%、「プラスチック製容器包装非対象」が70.8%、第2回調査では「プラスチック製容器包装」が5.7%、「プラスチック製容器包装非対象」が94.3%、第3回調査では「プラスチック製容器包装」が3.8%、「プラスチック製容器包装非対象」が96.2%となった。排出区分の「プラスチック」と同様に「プラスチック製容器包装非対象」が多くを占めており、中でも「金属との複合製品」の割合が高かった。

表 7 燃やさないごみのプラスチック排出状況

排出区分 (モデル事業実施後) / 分別区分	調査対象全体											
	第1回調査 (9月)				第2回調査 (10月)				第3回調査 (11月)			
	重量	排出区分の内訳の構成比	分別区分の構成比	燃やさないごみ全体に対する構成比	重量	排出区分の内訳の構成比	分別区分の構成比	燃やさないごみ全体に対する構成比	重量	排出区分の内訳の構成比	分別区分の構成比	燃やさないごみ全体に対する構成比
プラスチック	4.3	55.0%	100.0%	4.0%	3.4	28.0%	100.0%	3.7%	3.3	33.0%	100.0%	4.9%
プラスチック製容器包装	0.9	11.4%	20.8%	0.8%	1.3	11.0%	39.5%	0.8%	1.3	13.4%	40.6%	1.0%
その他ペットボトル	0.2	2.7%	4.9%	0.2%	0.1	0.5%	1.7%	0.2%	0.0	0.0%	0.0%	0.2%
ボトル、チューブ	0.3	3.3%	6.0%	0.2%	0.6	4.6%	16.5%	0.2%	0.3	2.8%	8.4%	0.3%
バック類	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.2%	0.6%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%
カップ類	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%
ふた・キャップ類	0.2	2.1%	3.9%	0.2%	0.0	0.2%	0.9%	0.1%	0.0	0.3%	0.9%	0.2%
白色発泡スチロール	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%
白色発泡トレイ	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.1%	0.3%	0.0%
着色発泡トレイ	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%
その他トレイ	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%
レジ袋	0.2	3.2%	5.7%	0.2%	0.5	4.5%	16.1%	0.2%	0.8	7.9%	24.1%	0.3%
包装フィルム・ラップ・袋	0.0	0.2%	0.4%	0.0%	0.1	1.0%	3.7%	0.0%	0.2	2.3%	7.0%	0.0%
プラスチック製容器包装非対象	3.4	43.5%	79.2%	3.2%	2.1	16.9%	60.5%	2.9%	2.0	19.6%	59.4%	3.9%
製品プラスチック (プラ100%)	3.4	43.5%	79.2%	3.2%	2.1	16.9%	60.5%	2.9%	2.0	19.6%	59.4%	3.9%
医療用バック・チューブ	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%
燃やすごみ	3.5	45.1%	100.0%	3.3%	8.7	72.0%	100.0%	3.1%	6.7	67.0%	100.0%	4.0%
プラスチック製容器包装	1.0	13.2%	29.2%	1.0%	0.5	4.1%	5.7%	0.9%	0.3	2.6%	3.8%	1.2%
その他	0.9	10.9%	24.3%	0.8%	0.2	1.8%	2.5%	0.7%	0.3	2.6%	3.8%	1.0%
汚れたプラスチック	0.2	2.3%	5.0%	0.2%	0.3	2.3%	3.2%	0.2%	0.0	0.0%	0.0%	0.2%
プラスチック製容器包装非対象	2.5	31.9%	70.8%	2.3%	8.2	67.9%	94.3%	2.2%	6.5	64.5%	96.2%	2.8%
金属との複合製品	2.4	31.2%	69.2%	2.3%	5.8	47.6%	66.1%	2.1%	5.8	57.4%	85.6%	2.8%
注射器	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.1	0.7%	1.6%	0.1%	2.1	17.0%	23.6%	0.0%	0.5	5.1%	7.6%	0.1%
汚れたプラスチック	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.4	3.3%	4.6%	0.0%	0.2	2.0%	2.9%	0.0%

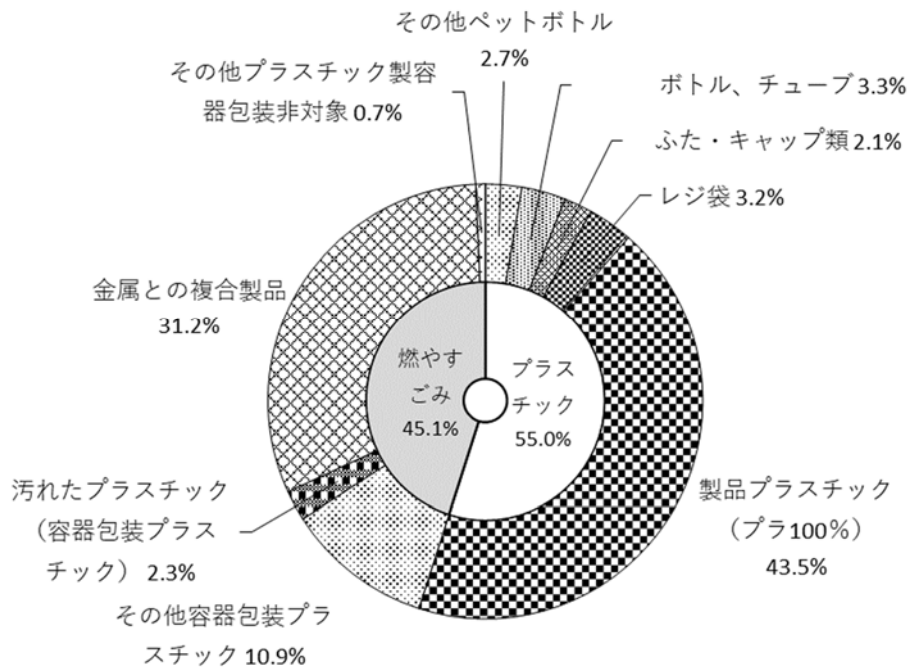


図 26 排出区分と内訳 (第1回調査)

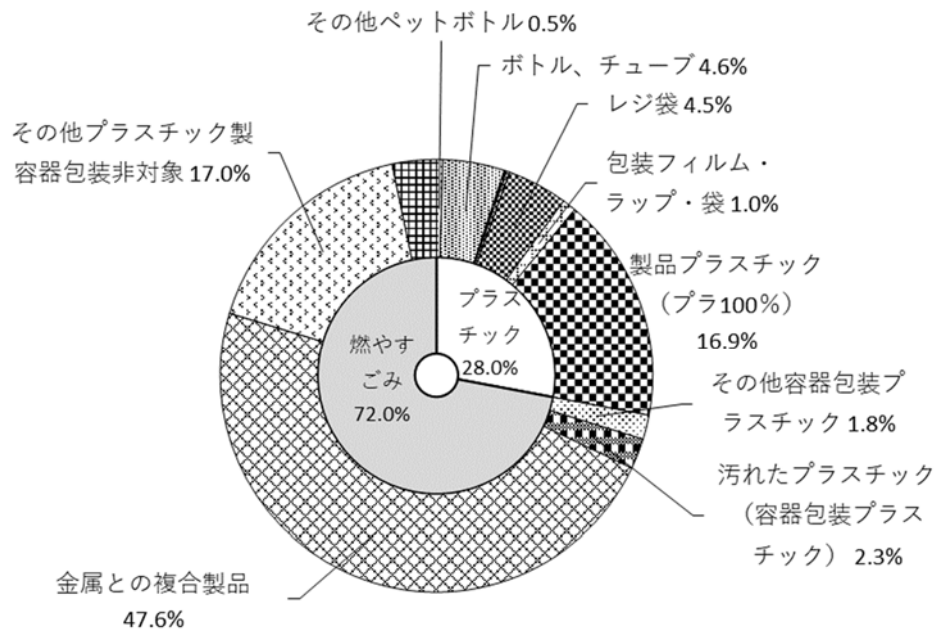


図 27 排出区分と内訳 (第2回調査)

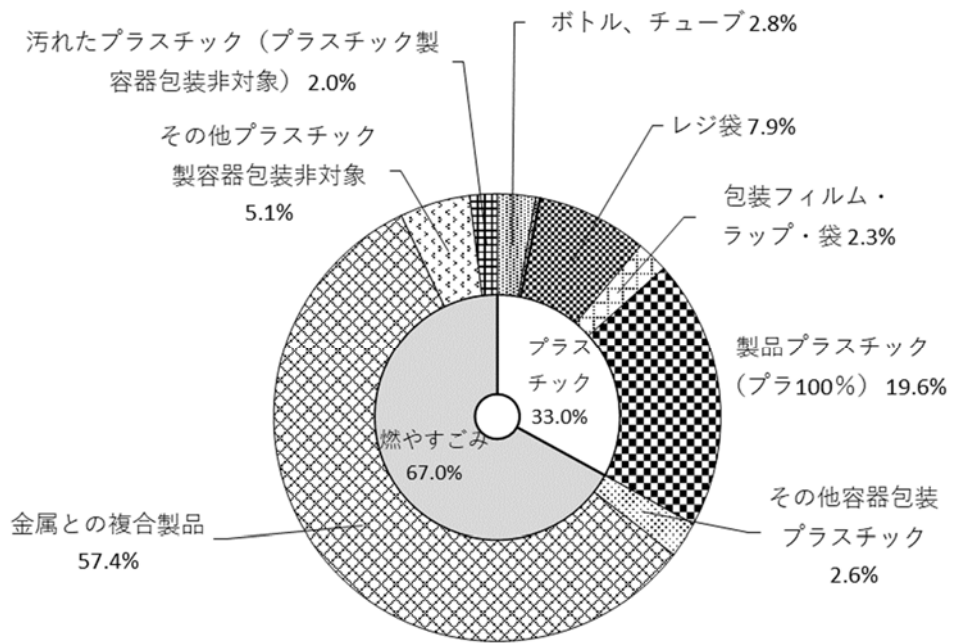


図 28 排出区分と内訳 (第3回調査)

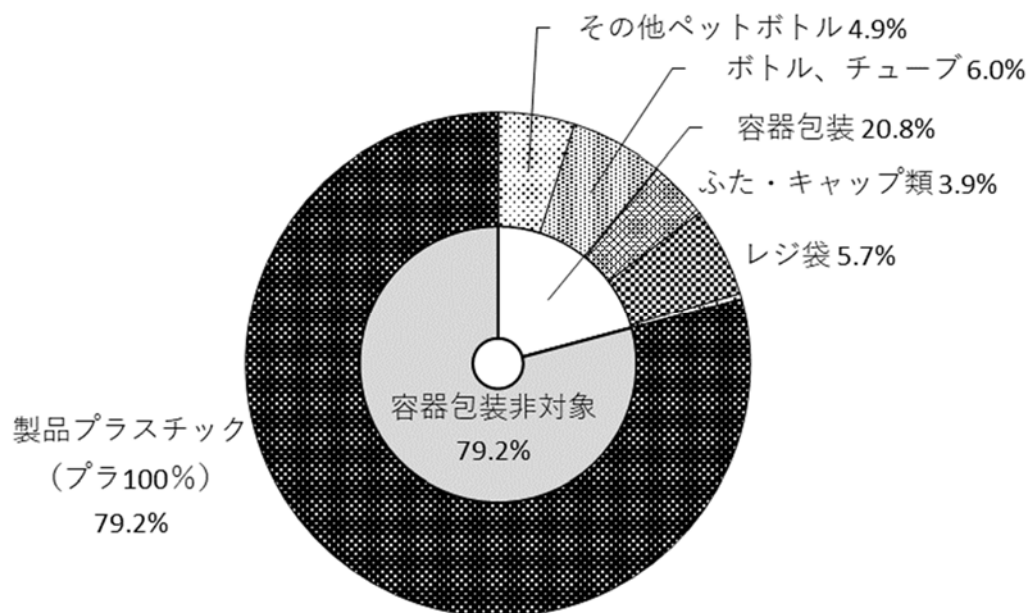


図 29 「プラスチック」の分別区分と内訳 (第1回調査)

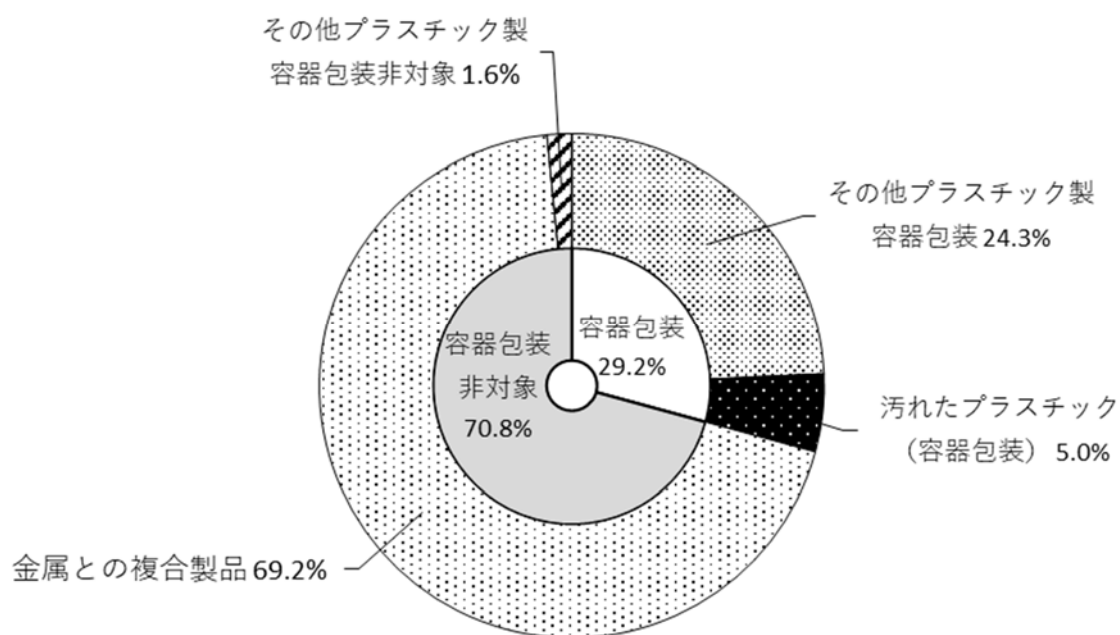


図 30 「燃やすごみ」の分別区分と内訳 (第1回調査)